

'91.7.29 (MON)開場pm7:00,開演pm7:30

WALK八戸5F パラポラ ¥2000均一

◆プログラム

①ITIイスタンブール世界会議の成果とVD上映 — 報告 服部明子&豊島重之

②バルト三国の演劇シーン — 報告 ユーリー・ルミステ (通訳 小林穂子)

③「HMMORGモルグ」上演 (pm 8:30~9:10予定)

ユーリー&モレキュラー・シアター

演出 服部&ユーリー&豊島

出演 ユーリー・ルミステ・大久保一恵・服部明子・平井美智代・竹井由美子

・藤田良子・高沢利栄・八木橋えり子・赤崎正典

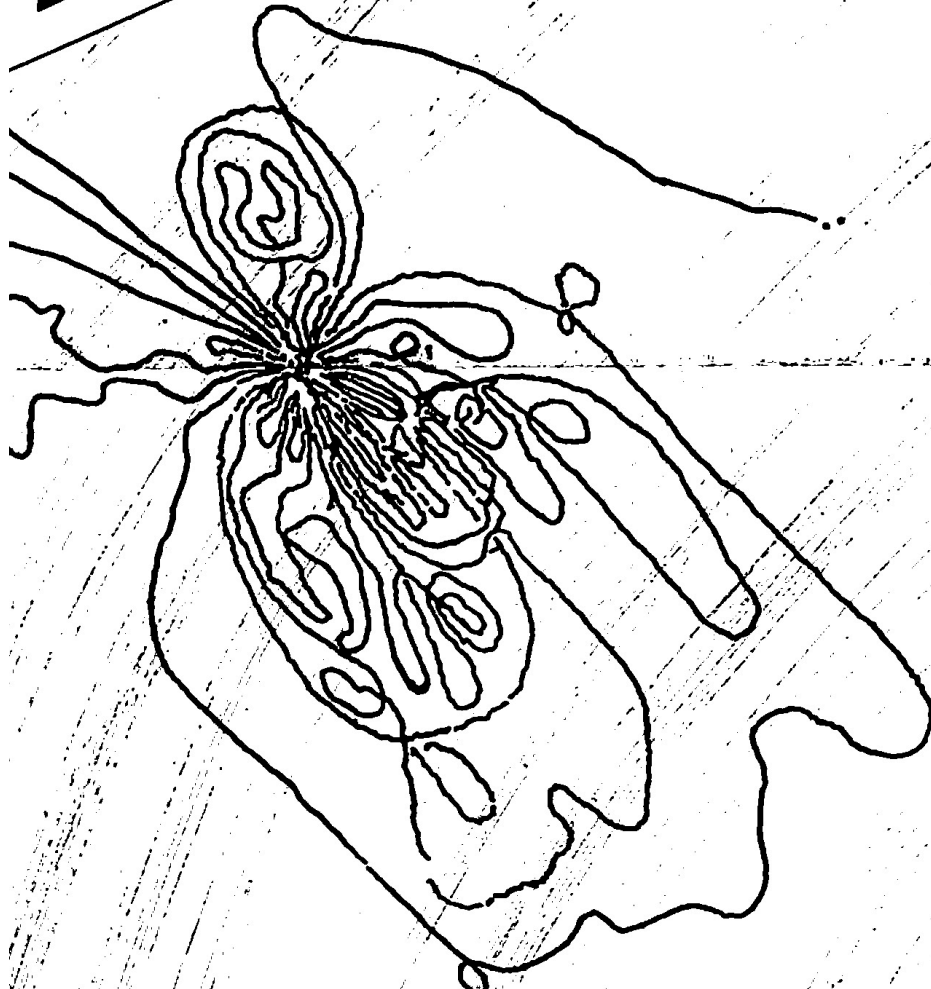
スタッフ協力 篠 アイズ

今、きみは湾岸の風だ、今、きみは海峡に立つ!!

HMMORG

by Jüri & MOLECULAR

ユーリー・ルミステ初来日!エストニアと八戸を架橋する!!



ITI国際演劇協会 / 世界会議 イスタンブール凱旋報告

イスタンブールで開催されたITI (国際演劇協会) による70ヶ国参加の世界会議(91年5月26~6月2日)にモレキュラー・シアターより豊島重之と服部明子が招待された。この両名は会議に出席するとともに、5月16日に始まった16日間のワークショップで10数ヶ国の俳優を演出指導し、その作品は会議の中心議題となるなど多大な成果をあげて、6月7日に帰国した。その活躍ぶりは、トルコの新聞数紙にトップ記事で紹介されるほどであった。モレキュラー・シアターは、この上演に参加したユーリー・ルミステ (エストニア) を八戸に招聘し、イスタンブール上演作「The Wall」改定版「モルグ」を八戸の皆さんに紹介したい。イスタンブールとエストニア、ペルシャ湾岸とバルト湾岸、世界の出会いを八戸で体験できるこのチャンスを是非、お見逃しなく!!

主催

WALK八戸(43) 8181

MOLECULAR THEATRE (45) 9247

(チケット取扱...WALK5F チケットセゾン)

今、きみは湾岸の風だ、今、きみは海峡に立つ!!

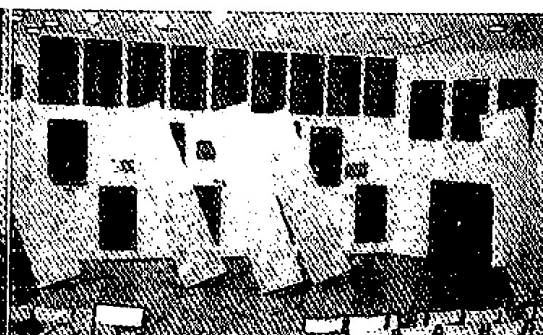
“アジアとヨーロッパがイスタンブールで出会った”



AKM劇場国際演劇祭実行委主催のウイデオ・レクチャー。服部・豊島(手前)が日本の演劇演劇の系図とATA・HMP・IACを紹介した。

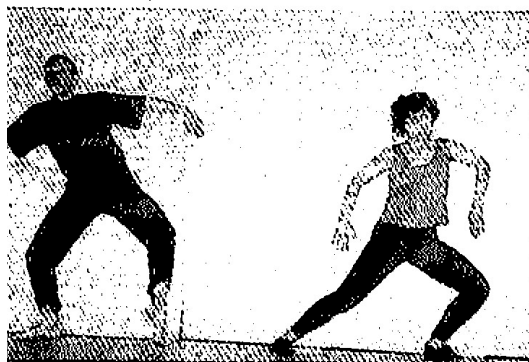


日本チームの俳優たちをワークショップ指導する服部・豊島(左端)



“The Wall”上演を明日に控えてのリハーサル。日本チームのこの12枚の壁は「顔面性＝足面性＝高度情報性」といったモチーフに基づいている。

日本チームの中心メンバーとして活躍したユーリー・ルミステ(左)とトルコの女優シャヒーネ。

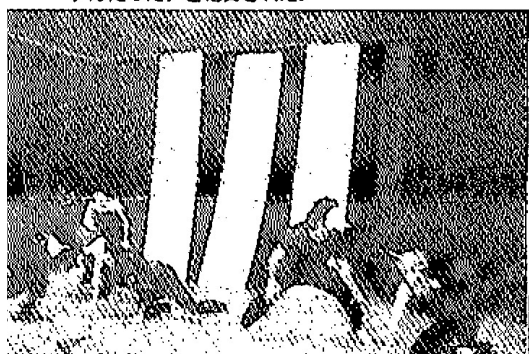


5月31日ワークショップ最終日。“The Wall”日本チーム上演のステージ。右手前キプロスのオスマンとユーゴのナターシャ。終演後、I・T・I世界センターのペリネッティ事務総長(パリ・国立シヤイヨー劇場ディレクター)から、東にストロング、かつプロフェッショナルだった、と絶賛された。

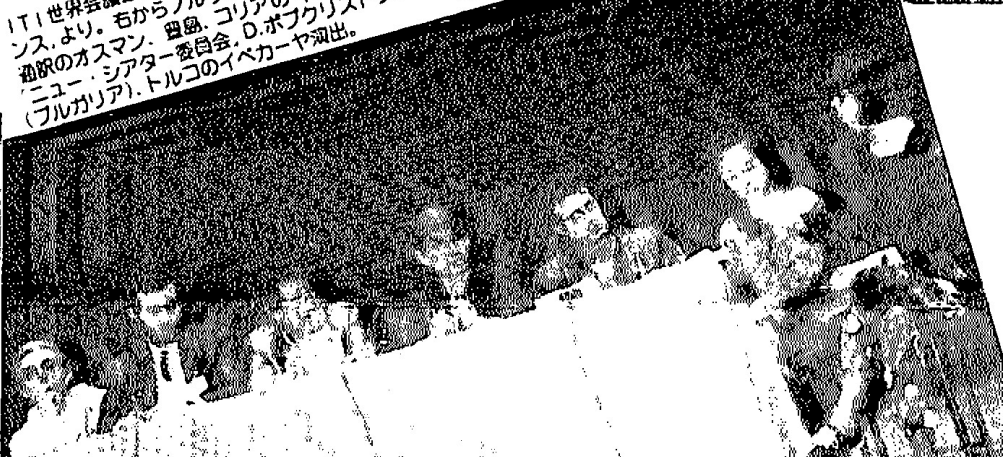
1987年、エストニア・タルトゥ劇場で上演されたマクベス。の舞台より。マクベスを演じるユーリーとマクベス夫人役のエストニアNo.1の映画女優エル・ケール



I・T・I世界会議最終日「ニュー・シアター・コンフェランス」より。右からノルウェーのI・T・I委員、服部、池沢のオスマン、豊島、コリアのキム演出、司会のニュー・シアター委員会、D.ボフクリストフ委員長(ブルガリア)、トルコのイベカーヤ演出。



1988年「ベルリン750年祭—ベタニエン・フェスティバル」招待公演。I/Fパラサイト。(東京ドイツ文化会館)より。主演の大久保一恵。(P.宮内閣)



黒海カフカス地方から招待されたタタール人の民族歌舞団の子供たちとともに(中央服部)。この歌舞団は、I・T・I世界会議の最終日、15世紀ギリシャ軍がボスポラス海峡に建てたルメリ城で公演し、シルクロード二千年の記憶を我々日本人はもちろん、70ヶ国の人々に喚びおこして絶賛を浴びた。



“The Wall”上演後、日本チーム勢揃い。右から豊島(後ろがテオマン)、服部、ヴァンサン(仏)アスマン(アンカラ)ニヤン(アルメニア)アイシェ(トルコ)ナイマ(チュニジア)ナターシャ(ユーゴ)シャヒーネ(トルコ)オスマン(キプロス)フィリップ(ベルギー)ウズテン(トルコ)マンバシャカ(中央アフリカ)アンナ(ウクライナ)ユーリー(エストニア)他の参加(スウェーデン・英・シリアら)